

事業の背景・目的

京都府では、これまで、生物多様性保全の拠点となる組織や場がなかった。京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、府市協調により令和5年4月に設置した「きょうと生物多様性センター」により、生物多様性保全に係る関係者の連携や協力のあっせんを行う。府内の生物多様性に関する様々な情報（生物の分布状況、保全に関わる様々な主体についての情報など）を集積し、また、情報を基に地域に関わる多様な主体の連携・協力を進め、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を展開する。

事業の内容

生物多様性の拠点として収集・利活用・継承に取り組み京都の生物多様性保全を推進。コーディネートなどの支援に加え多くの取組を実施



企業とのパートナーシップ協定



ネットワーク化を図るためのイベント



生物多様性の主流化のためのシポジウム・フォーラム



HPやSNSにより発信

得られた成果

地域連携保全活動支援センターとして各主体間における連携・協力のあっせん、必要な情報の提供や助言を実施

- ・年間30件以上のコーディネートを実施。
- ・生物多様性情報のデータベース構築を進め、公共工事における環境配慮などに活用
- ・標本デジタル化システムの導入を契機に京都の文化と生物多様性について発信
- ・企業との連携や保全活動の支援を実施し、府内の生物多様性保全の取組を推進
- ・若手のための保全研修会などを実施し、生物多様性保全の担い手を育成